

# 水道事業経営状況について

## 1. 水道事業の概要

名寄市の水道事業は、昭和 32 年の創設事業から始まり、平成 7 年度からは第 2 期拡張事業の認可を受け、新たに水源をサンルダムに依存し、給水区域の拡張による新たな水需要の増加と浄水場施設の更新を目的として、現在も拡張事業を継続中であります。

平成 28 年 4 月には特別会計として経営していた 3 地区（智恵文中央、智恵文八幡、風連日進）の簡易水道事業を事業統合して今日に至っています。

また、緑丘浄水場から風連浄水場への送水による安定的な水供給に向けて送水管布設工事を実施し、令和 2 年 5 月に水利権変更の許可を受け、同年 6 月から供給を開始しています。

※令和 3 年度末現在

【事業創設認可年月日】	《名寄》	昭和 32 年 3 月
	《風連》	昭和 36 年 6 月
【供用開始年月日】	《名寄》	昭和 35 年 11 月
	《風連》	昭和 36 年 12 月
【計画給水人口】	25,820	人
【現在給水人口】	23,775	人
【給水戸数】	14,141	戸
【浄水場数】	6	浄水場
	(緑丘浄水場・川西浄水場・瑞穂 浄水場・智恵文中央浄水場・智恵 文八幡浄水場・風連日進浄水場)	
【管延長】	導水管	3,820m
	送水管	9,860m
	配水管	341,970m
【配水能力】	12,080	m <sup>3</sup> /日
【1日最大配水量】	9,238	m <sup>3</sup> /日
【年間総配水量】	2,824,364	m <sup>3</sup>
【年間総有収水量】	2,280,706	m <sup>3</sup>
【有収率】	80.75	%

※給水戸数、管延長は「地方公営企業決算状況調査」（総務省）報告値による。



緑丘浄水場



風連浄水場  
(緑丘浄水場から受水)



川西浄水場



瑞穂浄水場



真熟別頭首工



智恵文中央浄水場



智恵文八幡浄水場



風連日進浄水場

# なよろしの水道



**ろ過池**  
まだのこっている目に見えない小さな汚れを池の底にある砂にくっつけて取りのぞきます



**塩素こんわ池**  
次亜塩素酸ナトリウムという薬品を使って体に有害な細菌たちを消毒殺菌します

**沈でん池**  
にごいをかたまりにしたフロックを池の底に沈めきれいなわずみの水だけが次ぎの池に進みます



**フロックけいせい池**  
池の中にある大きな羽根を回してにごいとPACをよくかきまぜてフロックという重たいかたまりにします

**薬品こんわ池**  
PACという薬品を使って水の中にあるにごいを大きく重たくします

**活性炭せしょく池**  
活性炭をつけて水についているにおいをとります

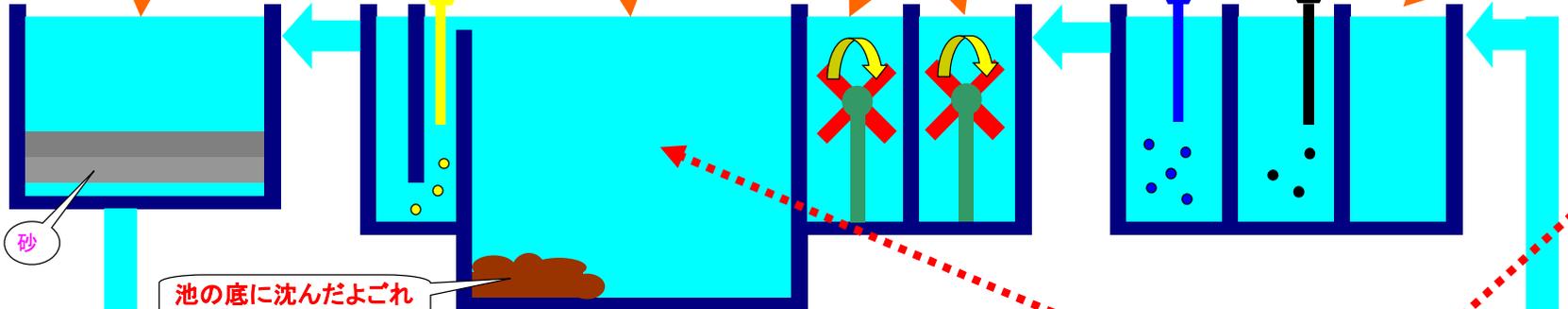


安全でおいしい水が出来るまでのしくみを見てみよう！



**なよろ川**  
なよろ川の水を原水として取水口から浄水場へ送ります

**着水井**  
くみ上げられた水が最初にたどっていく池です



砂

池の底に沈んだよごれ

緑丘浄水場では  
1日に**12,730**トンの水を作ることができます

**7,400**トン  
名寄市で使う約1日分の水をたくわえておくことができます

**はい水池**

きれいになった水をためておく大きな池です  
ここからみんなの家に送り出されます



**ずいしつ検査**  
浄水場では安全でおいしい水を作るために毎日いろいろなところの水をきびしく検査しています！



**まくんべつどうしゅこう**  
3門あるゲートを動かして川に流れる水の量をちょうせいします



**どうすいポンプ**  
このポンプで約60m高い場所にある浄水場まで水をくみ上げます



空から見た緑丘浄水場

## 2. 令和3年度 水道事業決算

### (1) 総括事項

令和3年度における水道事業の給水人口は23,775人となり、前年度から475人減少しており、行政区域内人口に対する普及率は90.70%となっております。

有収率については、配水管及び給水管の漏水調査に基づく漏水修繕や、老朽管更新を継続して行ったことにより、前年度の有収率から0.14ポイント増加し、80.75%となりました。

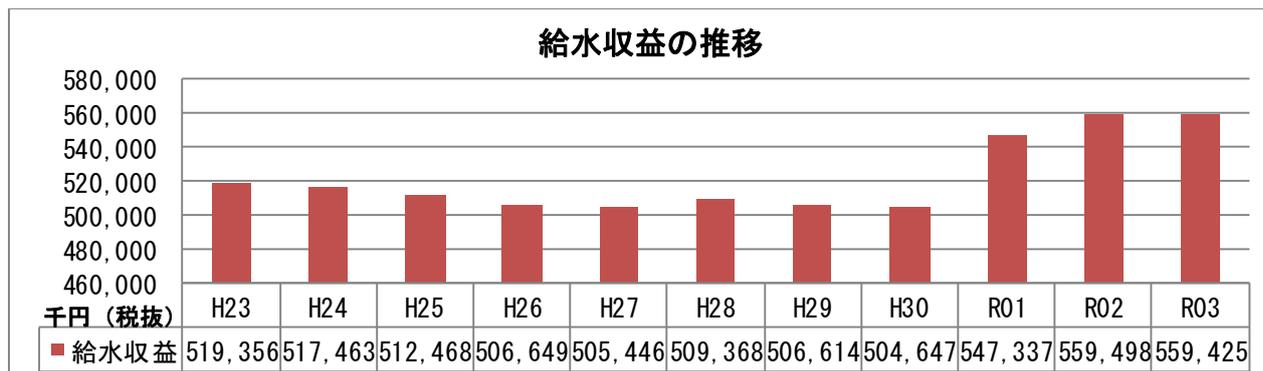
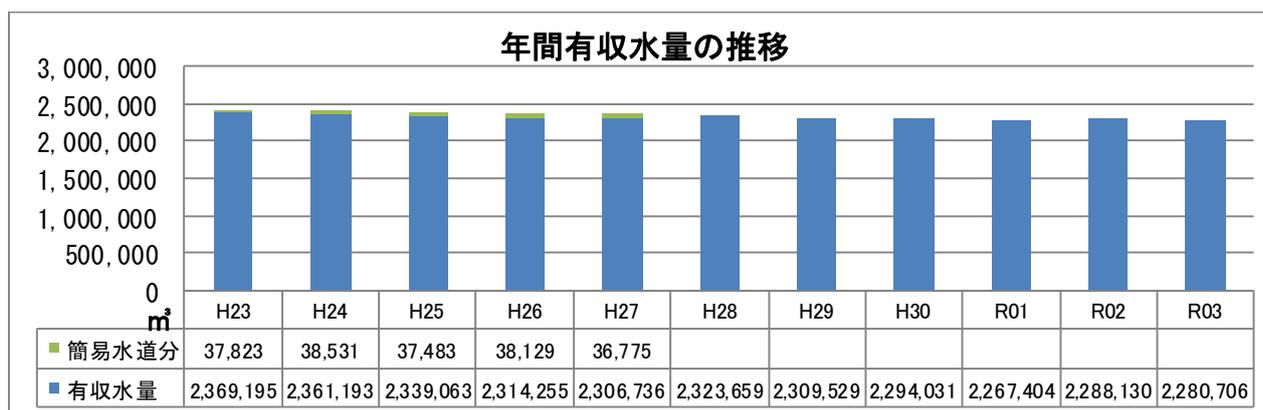
収益的収入では、令和3年度決算において、特別利益(退職給付引当金戻入等)として、13,832千円を計上しており、45,254千円の純利益を計上することとなりました。そのため、前年度繰越利益剰余金138,443千円により当年度未処分利益剰余金は183,697千円となる見込みとなります。昨年同様、積立金等に処分せずに未処分利益剰余金として繰越す見込みとなります。

資本的収支では、事業費前年比42,114千円増となり、資本的収支不足額が5.84%増加となりました。

水道事業としては、安全安心な水を安定的に供給するために、水源確保と水質管理の強化を図り、経営戦略に基づき経営の健全化に向け施設の効率的な維持管理や計画的な更新と経費の節減に努めてまいります。

### 【給水状況】

事項	単位	R3年度(R4.3末)	R2年度	対前年度比較	備考	
行政区域内人口	人	26,212	26,708	△ 496	住民基本台帳3月末人口	
給水区域内人口	人	25,669	26,143	△ 474	給水区域内の3月末人口	
給水人口	人	23,775	24,250	△ 475	住民基本台帳上の給水者数	
普及率	行政区域内	%	90.70	90.80	△ 0.10	
	給水区域内	%	92.62	92.76	△ 0.14	
年間総配水量	m <sup>3</sup>	2,824,364	2,838,649	△ 14,285	浄水場からの配水量	
1日平均配水量	m <sup>3</sup>	7,738	7,777	△ 39		
1日最大配水量	m <sup>3</sup>	9,238	9,163	75		
年間有収水量	m <sup>3</sup>	2,280,706	2,288,130	△ 7,424	水道料金の対象となった水量	
有収率	%	80.75	80.61	0.14	年間有収水量/年間総配水量	



(2) 収益的収支〔施設の運転・管理等、水道事業を運営するための経費とその財源〕

収益的収入では、有収水量は前年度から 7,424 m<sup>3</sup>減少しており、給水収益は 73 千円減額の 559,425 千円、前年度比 0.01%減となり、営業収益、営業外収益を併せて 690,284 千円、前年度比 1.66%の増となりました。

収益的支出では、各費目において経費の節減を図っておりますが、薬品費や動力費が増加したことにより、営業費用、営業外費用を併せて 658,863 千円となり、前年度比 1.09%増となりました。

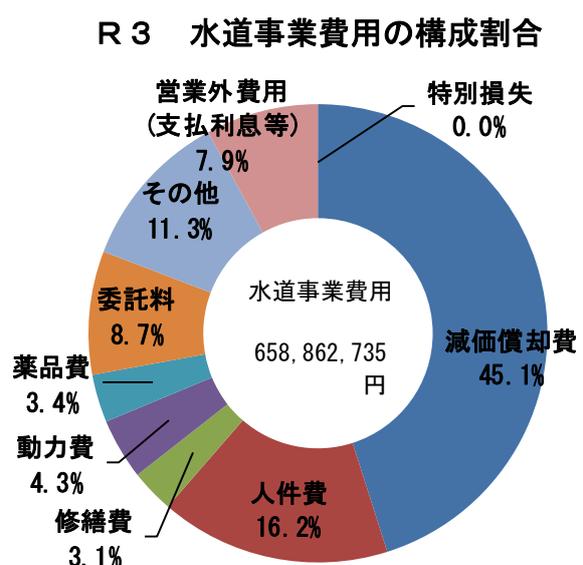
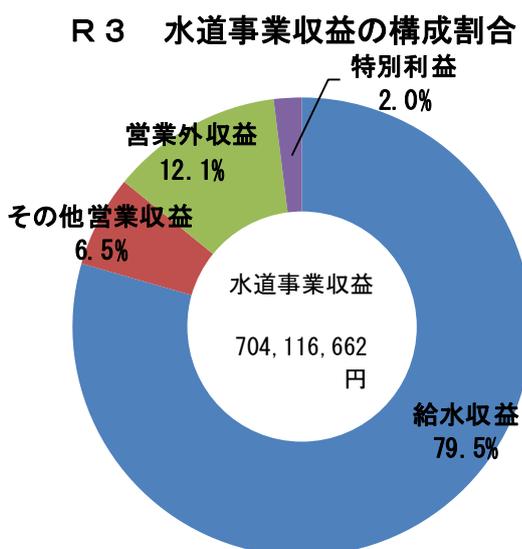
これにより経常的な収支では 31,422 千円のプラスとなっております。

当年度の純損益につきましては、特別利益として 13,832 千円、特別損失 0 円を計上し、45,254 千円の純利益を計上することとなりました。

【収益的収支】

(単位:円[税抜])

科目	R 3 当初予算	R 3 決算	R 2 決算	R 3 決算と R 2 決算の差額	増減率
経常収益	680,032,000	690,284,337	679,011,111	11,273,226	1.66%
営業収益	594,681,000	605,039,104	593,092,879	11,946,225	2.01%
うち給水収益	551,115,000	559,425,344	559,497,575	△ 72,231	△ 0.01%
営業外収益	85,351,000	85,245,233	85,918,232	△ 672,999	△ 0.78%
経常費用	678,264,000	658,862,735	651,774,443	7,088,292	1.09%
営業費用	630,137,000	610,606,470	599,537,962	11,068,508	1.85%
営業外費用	48,127,000	48,256,265	52,236,481	△ 3,980,216	△ 7.62%
経常損益	1,768,000	31,421,602	27,236,668	4,184,934	15.37%
特別利益	49,000	13,832,325	18,125,929	△ 4,293,604	△ 23.69%
特別損失	0	0	463,894	△ 463,894	△ 100.00%
当年度純損益	1,817,000	45,253,927	44,898,703	355,224	0.79%
前年度繰越利益剰余金	127,013,000	138,443,068	93,544,365	44,898,703	48.00%
当年度未処分利益剰余金	128,830,000	183,696,995	138,443,068	45,253,927	32.69%



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

### (3) 資本的収支〔施設を建設整備するための経費とその財源〕

資本的収支では、資本的収入額 301,516 千円に対して、資本的支出額は 622,167 千円となり、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 320,651 千円は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 28,576 千円及び過年度分損益勘定留保資金 292,075 千円で補填いたしました。

主な整備事業として、配水管網整備工事及び老朽管更新工事等で 124,246 千円、量水器取替工事で 62,666 千円、拡張事業配水管新設整備工事で 23,353 千円、浄水場施設整備工事等で 85,069 千円など取り組んでまいりました。

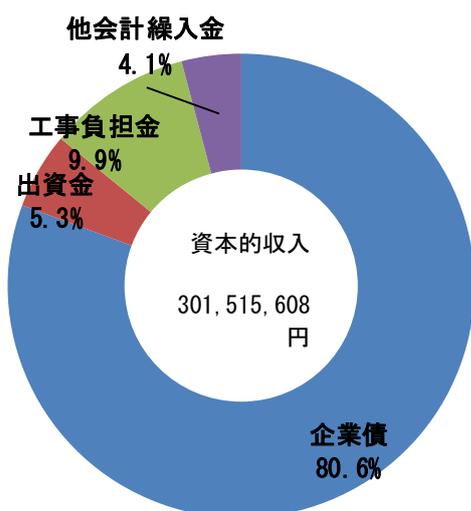
#### 【資本的収支】

(単位:円[税込])

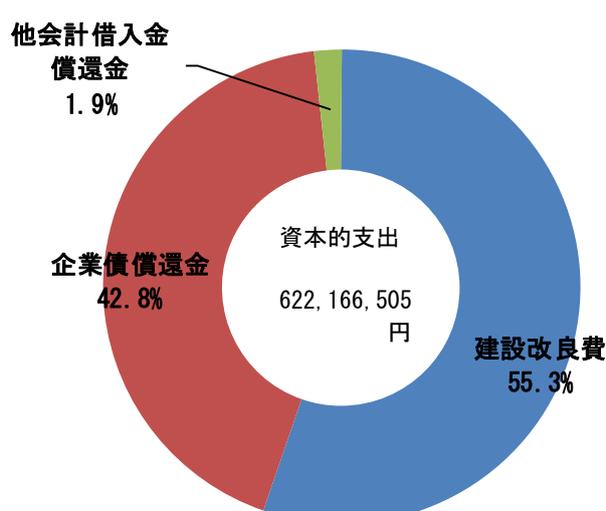
科目	R 3 当初予算	R 3 決算	R 2 決算	R 3 決算と R 2 決算の差額	増減率
資本的収入	319,177,000	301,515,608	262,701,866	38,813,742	14.77%
企業債	253,900,000	243,100,000	187,600,000	55,500,000	29.58%
出資金	15,998,000	15,998,435	15,535,286	463,149	2.98%
工事負担金	36,318,000	29,979,000	41,116,500	△ 11,137,500	△ 27.09%
他会計繰入金	12,961,000	12,438,173	18,450,080	△ 6,011,907	△ 32.58%
資本的支出	650,018,000	622,166,505	565,660,219	56,506,286	9.99%
建設改良費	371,691,000	344,313,957	302,200,300	42,113,657	13.94%
企業債償還金	266,687,000	266,212,548	251,819,919	14,392,629	5.72%
うち他会計借入金償還金	11,640,000	11,640,000	11,640,000	0	0.00%
資本的収支(不足額)	△ 330,841,000	△ 320,650,897	△ 302,958,353	△ 17,692,544	△ 5.84%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。

#### R 3 資本的収入の構成割合



#### R 3 資本的支出の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

#### (4) 令和3年度の主な事業

##### ◎第2期拡張事業《企業債》 23,353,000円

陸上自衛隊名寄駐屯地への配水管布設

###### 【主な工事】

- ・配水管新設整備工事

##### ◎配水管網整備事業《企業債》 13,123,000円

配水管未整備地区や道路改良工事に合わせた配水管の新設を行う。

###### 【主な工事】

- ・南10丁目右仲通配水管網整備工事
- ・北2丁目通配水管網整備工事

##### ◎老朽管更新事業《企業債》 101,728,000円

耐用年数が経過した配水管を計画的に更新する。

令和3年度末現在、耐用年数(40年)の経過している管延長は98,972m。

###### 【主な工事等】

- ・豊栄南12丁目仲通老朽管更新工事
- ・風連南2丁目線老朽管更新工事
- ・西2条通(北7丁目～北5丁目)老朽管更新工事
- ・南西6条通老朽管更新工事
- ・道道旭名寄線老朽管更新工事
- ・道道西風連名寄線老朽管更新工事
- ・東3条仲通他1老朽管更新工事



(老朽管更新事業)

##### ◎浄水場施設改修事業《企業債(一部)》 85,068,500円

各浄水場の施設整備等

###### 【主な工事】

- ・緑丘浄水場 1・2 拡薬品注入設備更新工事《企業債》
- ・緑丘浄水場 1・2 拡フロキュレータ減速機外更新工事《企業債》
- ・緑丘浄水場 導水ポンプ場真空ポンプ更新工事。《企業債》
- ・緑丘浄水場 水質試験室エアコン更新工事《企業債》
- ・風連浄水場 次亜注入設備更新工事《企業債》
- ・風連日進浄水場 逆洗ブロー外更新工事《企業債・過疎債》



(緑丘浄水場 1・2 拡薬品注入設備)



(緑丘浄水場 1・2 拡フロキュレータ減速機)

◎水質検査機器更新事業《企業債》 5,108,400円

北海道水質管理計画に基づく中核自治体として、近隣市町村を含めた水質検査業務を受託しており、耐用年数が経過した機器を計画的に更新している。

【更新機器】

- ・イオンクロマトグラフ質量分析計《企業債》
- ・pH計《企業債》



(水質検査機器)

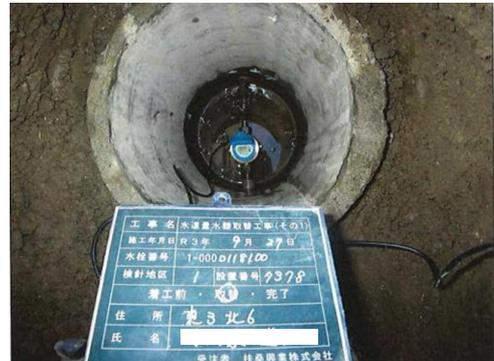
◎水道量水器取替工事《工事負担金》 62,666,340円

量水器（水道メータ）は計量法に基づき使用期限が製造から8年間と定められていることから、使用期限前に取替工事を行っている。

財源は、工事負担金（下水道事業と個別排水事業から台数按分）と自己財源。

【取替数】

- ・名寄地区 1,222個
- ・風連地区 294個
- ・智恵文地区 2個
- ・風連日進地区 6個
- 合計 1,524個



(量水器取替)

### 3. 令和4年度予算進捗状況と令和5年度予算の概要

#### (1) 収益的収支

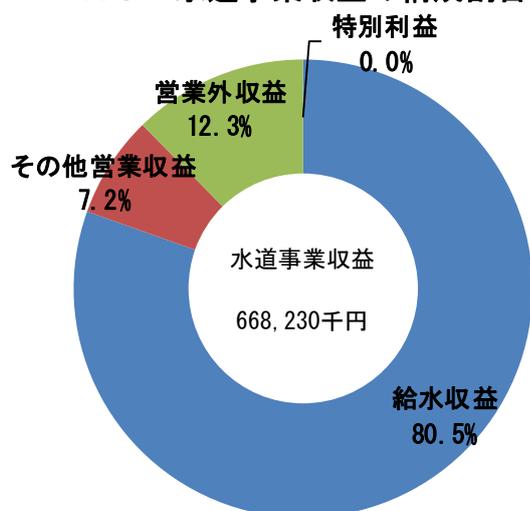
令和4年度については、使用水量の減に伴う給水収益の減少のほかに、令和4年11月から令和5年3月までの間、基本料金を減免しているため給水収益の減少が見込まれます。さらに、電気料金の大幅な増加など、物価上昇の影響を強く受けているほか、年末以降にかけて漏水の発生が増えるなど支出額が増えておりますが、令和4年度は9,356千円の純利益を見込んでおります。また、令和5年度では人口減少の影響もありつつも、大口需要家の需要増を見込み、4,238千円の純利益を見込んでおります。

#### 【収益的収支】

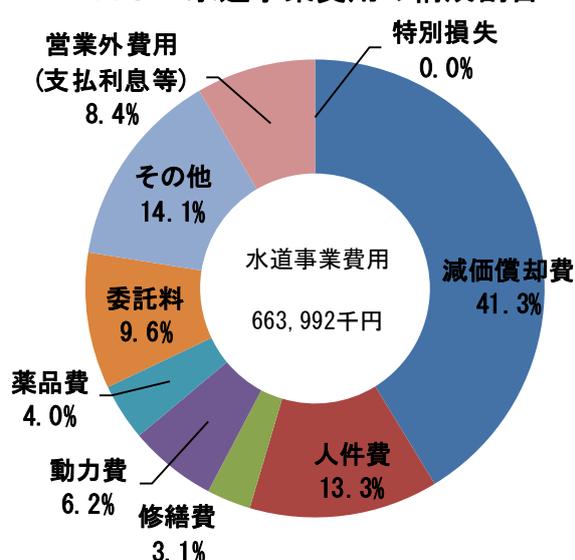
(単位：千円〔税抜〕)

科目	R4当初予算	R4決算見込 (補正後)	R5予算 (案)	R4当初予算とR5 予算(案)の差額	増減率
経常収益	676,838	675,115	668,229	△ 8,609	△ 1.27%
営業収益	585,910	515,945	586,063	153	0.03%
うち給水収益	537,437	466,050	537,826	389	0.07%
営業外収益	90,928	159,170	82,166	△ 8,762	△ 9.64%
経常費用	650,150	670,833	663,991	13,841	2.13%
営業費用	605,401	625,978	621,281	15,880	2.62%
営業外費用	44,749	44,855	42,710	△ 2,039	△ 4.56%
経常損益	26,688	4,282	4,238	△ 22,450	△ 84.12%
特別利益	1	5,074	1	0	0.00%
特別損失	1	0	1	0	0.00%
当年度純利益	26,688	9,356	4,238	△ 22,450	△ 84.12%
前年度繰越利益剰余金	175,093	183,697	193,053	17,960	10.26%
当年度未処分利益剰余金	201,781	193,053	197,291	△ 4,490	△ 2.23%

R5 水道事業収益の構成割合



R5 水道事業費用の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

## (2) 資本的収支

令和4年度の主な事業として、陸上自衛隊名寄駐屯地への配水管布設のため、事業費を拡大して配水管新設整備工事を行いました。また、老朽管更新事業及び浄水場施設改修事業については老朽化に伴う計画的な改修を行いました。

令和5年度についても引き続き、陸上自衛隊名寄駐屯地への早期給水による安定的な経営のため、配水管新設整備工事を行う予定です。

事業費は資材単価の上昇により増加傾向にあります。設備の劣化状況や重要度などから整備箇所を選定し、計画的な改修を行います。

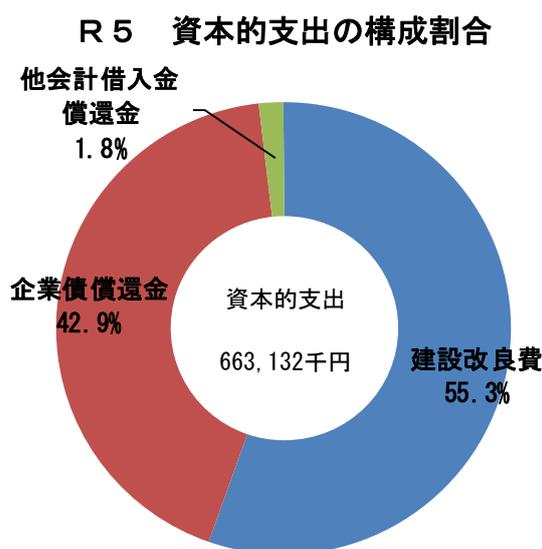
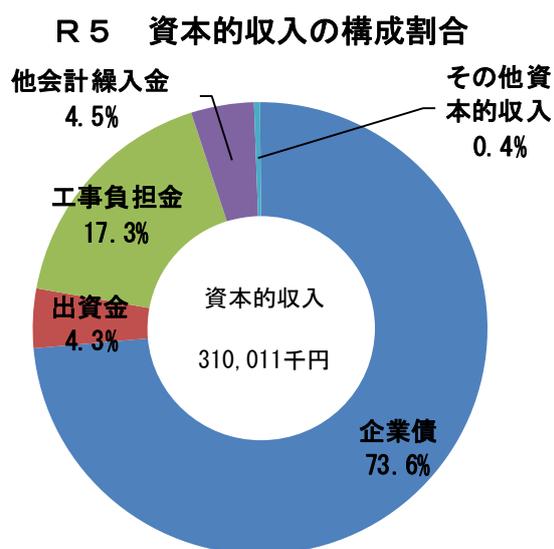
老朽化する施設に対して再投資を行う必要があるが、計画的更新を行い、更新費用の平準化を図るとともに、企業債などを活用して単年度の負担軽減を図ることとします。

### 【資本的収支】

(単位：千円[税込])

科目	R4当初予算	R4決算見込 (補正後)	R5予算 (案)	R4当初予算とR5予 算(案)の差額	増減率
資本的収入	353,258	369,891	310,011	△43,247	△12.24%
企業債	290,100	307,900	228,100	△62,000	△21.37%
出資金	14,174	14,174	13,182	△992	△7.00%
工事負担金	30,423	29,456	53,560	23,137	76.05%
他会計繰入金	13,136	13,258	13,837	701	5.34%
その他資本的収入	5,425	5,103	1,332	△4,093	△75.45%
資本的支出	670,219	683,114	663,132	△7,087	△1.06%
建設改良費	383,204	396,100	366,992	△16,212	△4.23%
企業債償還金	275,375	275,374	284,500	9,125	3.31%
他会計借入金償還金	11,640	11,640	11,640	0	0.00%
資本的収支(不足額)	△316,961	△313,223	△353,121	△36,160	△11.41%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

### (3) 令和4年度の主な事業

#### 【主な事業】

◎第2期拡張事業《企業債》 196,328千円

- ・自衛隊名寄駐屯地への配水管布設及び橋梁添架

◎配水管網整備事業《企業債》 8,536千円

- ・南10丁目右仲通配水管網整備工事
- ・豊栄南11丁目仲通配水管網整備工事
- ・管網整備設計業務委託
- ・仕切弁設置工事
- ・排泥弁設置工事



(配水管橋梁添架)

◎老朽管更新事業《企業債》 45,639千円

- ・南8丁目通老朽管更新工事
- ・北西5条通老朽管更新工事
- ・老朽管更新設計委託業務

◎浄水場施設改修事業《企業債》 43,139千円

- ・緑丘浄水場表洗ポンプ更新工事、1・2拡ろ過池流量計更新工事、ほか5工事
- ・瑞穂浄水場水質計器ほか更新工事
- ・風連日進浄水場風連日進地区増圧ポンプ更新工事

◎水質検査機器更新事業《企業債》 11,844千円

- ・融合結合プラズマ質量分析計ほか2機器

◎水道量水器取替工事《工事負担金》 65,884千円

- ・名寄地区1,373台、風連地区263台、智恵文地区6台、風連日進地区10台の量水器（水道メータ）交換工事を予定
- 財源は下水道事業、個別排水事業から工事台数按分による工事負担金と自己財源



(水質検査機器)

◎固定資産整理業務委託（水道施設） 5,291千円

- ・水道施設台帳整備、水利権更新に伴う水需要予測策定業務等

#### (4) 令和5年度の主な事業

##### 【主な事業】

- ◎第2期拡張事業《企業債》 54,340 千円  
・自衛隊名寄駐屯地への配水管布設を予定

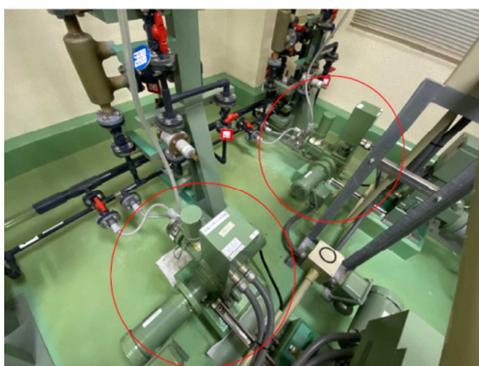
- ◎配水管網整備事業《企業債》 9,900 千円  
・配水管網整備工事を予定

- ◎老朽管更新事業《企業債》 83,160 千円  
・老朽管更新工事を予定



(令和5年度配水管布設開始地点)

- ◎浄水場施設改修事業《企業債（一部）》 75,580 千円  
・緑丘浄水場創設薬品注入設備更新工事、ほか1工事を予定  
・風連浄水場引込開閉器盤設置工事、ほか1工事を予定  
・瑞穂浄水場井戸改修工事を予定  
・智恵文中央浄水場配水ポンプ更新工事を予定  
・風連日進浄水場制御盤遠方監視装置更新装置、ほか1工事を予定



(緑丘浄水場 中次亜注入ポンプ)



(智恵文中央浄水場 配水ポンプ)

- ◎水道量水器取替工事《工事負担金》 111,898 千円  
・名寄地区 1,595 台、風連地区 239 台、智恵文地区 19 台、風連日進地区 6 台の量水器（水道メータ）交換工事を予定  
財源は下水道事業、個別排水事業から工事台数按分による工事負担金と自己財源

- ◎固定資産整理業務委託（水道施設） 4,950 千円  
・水道施設台帳整備、真勲別頭首工設備点検業務等